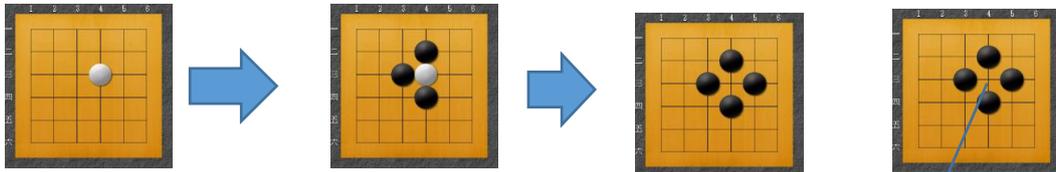


始める前に	黒と白で交互に打つ (黒が先に打ち始めます)
	対局の前に「おねがいします」
	石は碁盤の交点に置く
囲碁のルール	① 囲んだ石は取れる
	② 打てない場所がある。 但し、相手の石を取れるときは打っても構わない
	③ コウはすぐに取り返せない
	④ 最後に地の多いほうが勝ち

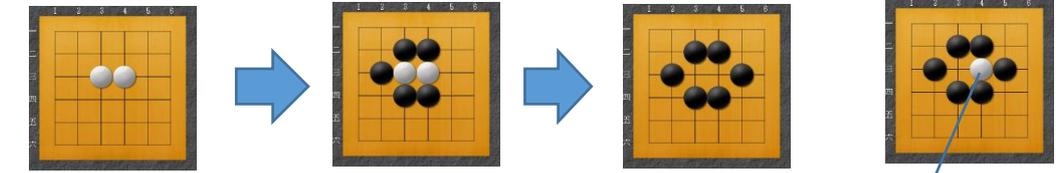


石の取り方
(ルール①)

石の周りを全て塞げば...

取れました(*´▽`*)

この場所に白石を置いてはいけません(ルール②)

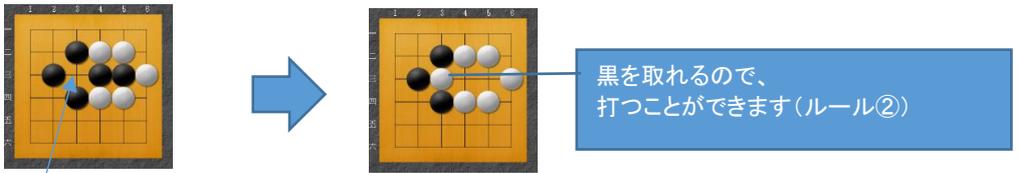


2つ並んでいても

囲んでいけば...

取れます(*´ω`)

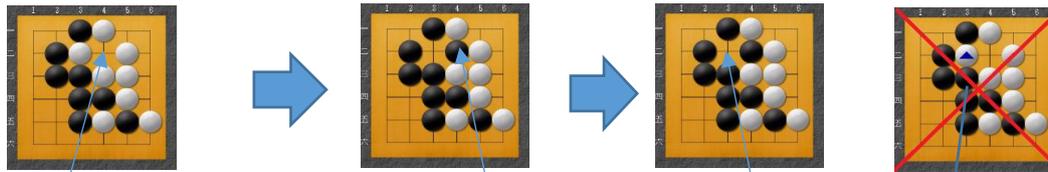
この場所は打つことができます(ルール②)



この場所は白打てるでしょうか？

黒を取れるので、
打つことができます(ルール②)

※取った石のことを「アゲハマ」といいます。
碁盤のフタなどに入れておき、
数がわかるようにしておかなくてはなりません。
終局の際、勝敗を決定する為に必要です。

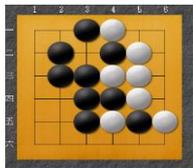


少し難しくなります。
黒番です。
この場所は黒打てますか？

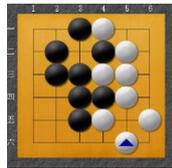
白を取れるので、
黒は打つことができます

次は白の手番ですが、
ここに打ったら??
同じ形に戻ってしまいます。

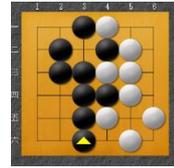
このように、同じ形に戻ってしまう形を「コウ」といいます。
コウはすぐに取り返せません(ルール③)



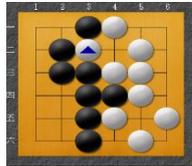
では、白はどうすればよかったですでしょうか？



他の手を打つことになります。ここでは右下の黒一子を取ってみました。



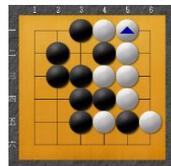
もし黒が、お付き合いしてくれば・・・



今度は白はコウを取ることができます。(同形ではないので)

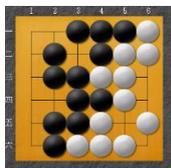


黒はお付き合いせずに、コウを解消することもできます。

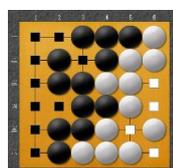


また白も、最初に黒がコウを取ってきたときに、守ることもできます。どちらが良いかは局面次第。コウは慣れるまで難しいですが、囲碁の面白さを奥深くしているルールです。

最後に地の多いほうが勝ち(ルール④)



手順が進み、黒も白もお互いに打つところなくなりました。終局です。



図に示した場所がお互いの地です。自陣内の交点を数えます。黒が9個、白が4個なので黒の5目勝ちにみえますが、アゲハマのことを忘れてはいけません。黒はアゲハマ2、白はアゲハマ1、でした。対局中に黒は白石を2つ取り、白は黒石を1つとったということです。アゲハマは取った数だけ相手の地を減らすことができます。ですので、最終的に黒の6目勝ちになります。(コミ無しの場合)

”コミ”とは？

囲碁は先手が有利なゲームなので、白が不利にならないようハンデをつけて打たれることがあります。具体的には、最終的な地合計算の際、白には無条件で6目半の地を与えるというものです。

他にも色々細かいルールはあるのですが、この4つのルールだけで碁は打てると思います。最初は終局がわかりにくいと思いますので、詳しい方に聞くなどしてもらいほうがよいでしょう。もう少し慣れてきたら、“アタリ”、“ボンヌキ”、“シチョウ”、“ゲタ”、“二眼”、“死活”、“欠け目”、“セキ”、

囲碁を打ちたいと思っても相手が居ないときもあります。そんなときは囲碁ゲームはいかがでしょうか？ひとりで気軽に楽しめます。無料のものをいくつか紹介しておきます。

【スマホ(iPhone、Android)】最強の囲碁 エントリー版 AppStore、GooglePlayで検索

【PC(WEB)】COSUMI <http://www.cosumi.net/play.html>